

行政の窓

平成28年度 北海道の木材関連施策について

北海道ではカラマツ・トドマツなどの人工林資源が成熟し、本格的な利用期を迎えています。これらの資源を活かして森林資源の循環利用を進め、TPP協定による新たな国際環境の下で林業・木材産業の競争力強化を図るため、原木を安定的に供給・加工する体制を構築し、地域材の利用拡大を一層進める必要があります。

このため、道では今年度、合板・製材拠点施設の生産性・品質向上や地域の需要に応じた木材生産・供給による利用拡大を目指す「林業・木材産業の競争力強化」、CLTなど新たな需要創出や施設の木造・木質化、木質バイオマスの安定供給などを進めて木材利用を図る「地域材の利用促進」、森林づくりや木材利用に対する理解及び参加・協力を促進するための「木育を通じた協働の森林づくり」などを柱に様々な取組を進めます。

「林業・木材産業の競争力強化」 「地域材の利用促進」

※ 平成28年度予算（平成27年度予算） 単位：千円

- ◎ 合板・製材生産性強化対策事業 5,065,673千円（新規）
 - ・生産性や品質の向上を図る木材加工流通施設の整備
木材加工の拠点となる大規模で高効率な合板・製材工場等への支援
 - ・原木を安定供給する間伐の実施や路網の整備等
間伐材の生産、路網整備、高性能林業機械等の整備への支援
- ◎ 道産CLT早期実用化促進事業 64,527千円（新規）
 - ・協議会の設置，モデルとなる実証建築の推進，
道内の生産加工体制の検討
- ◎ 林業・木材産業構造改革事業費 1,119,077千円（599,575千円）
 - ・波及効果の高い木造公共施設整備，木質バイオマスボイラーの整備
特用林産施設の整備
- ◎ 木質バイオマス資源活用促進事業 11,500千円（8,000千円）
 - ・地形などの地域特性に応じた林地未利用材の搬出方法の実証・普及
 - ・地域関係者の連携による効率的な木質バイオマスの流通方法の検討
 - ・消費者と連携した木質ペレットの需要拡大の検討，普及啓発
- ◎ その他の取組
 - 公共土木工事等での需要拡大
 - ・トドマツ型砕合板の幅広い関係機関での活用促進 など



CLT生産加工体制の検討



林地未利用材搬出の実証・普及

「木育を通じた協働の森林づくり」

- ◎ 道民との協働の森づくり推進事業費 20,383千円（26,264千円）
（木育の情報発信等）
- ◎ 木育推進事業費 2,114千円（新規）
（木育マイスターの育成・活用）
- ◎ 予算事業以外の取組
 - ・「希望」を「きぼう」でプロジェクト
 - ・木育の産業化等に向けた支援



道民森づくりネットワークの集い

（水産林務部林務局林業木材課林業木材グループ）
（水産林務部森林環境局森林活用課木育推進グループ）